

主要地域生協の7月度供給高（売上高）速報

～宅配は前年割れも、店舗と総供給高は前年超え～

日本生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：新井 ちとせ）は、全国58主要地域生協の2025年7月度の供給高（売上高）の速報をまとめましたので、ご報告いたします。

■全国主要地域生協 2025年7月度供給高・前年比（対象生協数58）

7月度速報値	供給高 (百万円)	前年比 (%)	総供給高に 対する構成比 (%)
総供給高 ①+②+③	236,928	101.4	
① 店舗	78,372	105.4	33.1%
② 宅配	154,145	99.4	65.1%
宅配のうち個配	121,469	100.2	51.3%
③ その他供給高	4,410	104.4	1.9%

2025年度 前年比推移 (%)	4月度	5月度	6月度	累計
総供給高 ①+②+③	101.5	103.2	103.2	102.7
① 店舗	103.7	102.7	103.4	103.3
② 宅配	100.4	103.6	103.1	102.4
宅配のうち個配	101.2	104.5	104.0	103.3
③ その他供給高	103.8	99.4	104.5	102.6

※供給高とは売上高や販売額のことです。

※その他供給高は、店舗・宅配いずれにも分類できない供給（灯油・葬祭など）を計上しています。

※構成比は小数第二位を四捨五入しています。供給高の百万円未満は切り捨てのため、総供給高と内訳の合計が一致しない場合があります。

※今回記載の過去月度の前年比は確定値です。先月以前のリリース記載の前年比（速報値）とは若干異なっておりますので、ご了承ください。

■今月の特徴

○7月度の総供給高は、101.4%で前年超えとなりました。

○店舗は、前年比105.4%でした。客数、客単価ともに前年を上回りました。近畿以西の地方で6月下旬までに梅雨明けし、高気温の日が続いたことで夏向け商品の利用が増えました。雑貨を除くすべての食品分類で前年を超過しています。米は、備蓄米の取り扱い以降、点単価は減少、販売点数は増加の傾向となり、引き続き前年同月比で伸長しています。

○宅配は、曜日まわりによる計上営業日数減の影響により、前年比99.4%でした。利用人数は前年に届かなかったものの、客単価は前年を上回り、引き続き米の販売単価上昇の影響を受けています。

以上

<お問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL：03-5778-8106